

## E 37 あなたのゲノム、私のゲノム —個性に基づく明日の医療—



ゲノム研究と社会との接点

展示責任者 福嶋 義光

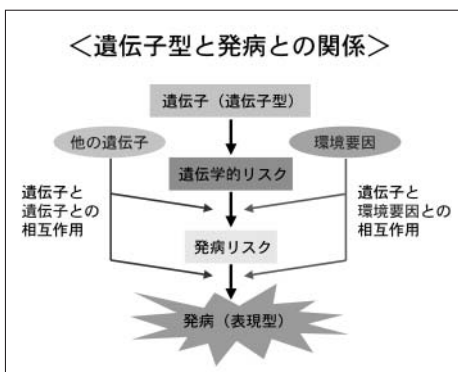
展示責任者所属 信州大学医学部遺伝医学・予防医学講座

現在、急速に遺伝子の研究が進んでおり、どんな病気になりやすいか、それを防ぐためにはどのような生活環境がふさわしいか、どの薬が効いてどの薬が副作用が強く出る可能性が高いかなど、ひとりひとりの遺伝子情報を調べて、個別対応のオーダーメイド医療を行うことができる時代が到来すると予測されています。

一方、遺伝子情報(ゲノム情報)は一生変化せず、血縁者も関与している可能性のある情報も含まれることから、扱う際には十分な配慮が必要です。ところが、日本では正しい遺伝教育がされてこなかったために、遺伝・遺伝子・DNA・ゲノムについての誤解があり、遺伝子情報が不適切に扱われる可能性

があります。このような社会では、遺伝子情報を医療に生かしていくことが難しくなり、せっかくの夢のオーダーメイド医療の恩恵を受けることはできません。遺伝子情報により区別はするが、差別はしない社会を構築するためには、あら

ゆる教育の場面で遺伝教育を充実させていく必要があると考え、私たちはさまざまな活動を行なっています。詳しくは GENETOPIA <<http://genetopia.md.shinshu-u.ac.jp/>> をご覧下さい。



## E 38 『ゲノム研究に協力してください』と言われたら —インフォームド・コンセントを体験しよう

医学・微生物学の新展開

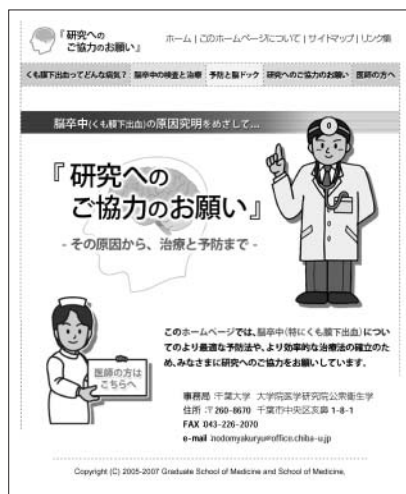
展示責任者 羽田 明

展示責任者所属 千葉大学大学院医学研究院

ゲノム研究が進み、個々人の体質の違いにあわせた薬剤投与、医療、健康管理が現実となり始めました。いわゆる「個の医療」の時代となってきたのです。個々人の体質の違いはヒト遺伝子上の小さな違い(多型とよびます)によって決まっていると考えられています。このようなゲノム研究をさらに進め、私たちの生活に役立てるには、これからも多くの方々の協力が不可欠です。研究に協力していただくためには、研究の目的、内容、協力者にとっての利益や不利益、協力方法などをきちんと説明し、よくご理解いただいたうえで、ご判断いただく必要があります。さらに研究参加に同意をされる場合は、同意文書に署名していただくという手続きをとります。この一

連の手続きをインフォームド・コンセントといいます。

ここでは、主任研究者に代わって、実際の説明をおこなっているゲノムメディカルリサーチコーディネーター(GMRC)が、どのように説明を行っているかを実際に体験していただき、率直なご感想、ご意見などをお聞きして、これからの活動に役に立てたいと思っております。研究内容の説明は、ホームページ(図1)なども活用しています。



(図1)脳卒中(くも膜下出血)に関する遺伝子解析研究への協力呼びかけホームページ:  
<http://www.genome-sci.jp/kumomaku/>